

MULTISTOMP

MS-100BT with Bluetooth

オペレーションマニュアル

このたびは、ZOOM **MS-100BT** (以下 **MS-100BT** と呼びます)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

MS-100BT の機能を十分に理解し、末永くご愛用いただくためにも、このマニュアルをよくお読みくださるようお願い致します。
なお、このマニュアルはお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

※ **MS-100BT** のエフェクトパラメーターリストは、製品には付属しておりませんので、ダウンロードしてご利用ください。→ <http://www.zoom.co.jp/downloads/>

MS-100BT は、操作をやめてから10時間経過すると自動的に電源が切れます。

常に電源をONにしたい場合は、P22の「4 パワーマネジメント機能を設定するには」を参考に、設定をOFFにしてください。

© 2012 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

目次

はじめに.....	3	タップテンポ機能を使う.....	18
安全上の注意／使用上の注意.....	4	Bluetooth機能を使う.....	20
各部の名称.....	6	各種設定を変更する.....	21
電源を入れる.....	8	エフェクトタイプ一覧.....	26
エフェクトを調節する.....	10	MS-100BT を工場出荷時の設定に戻す	34
パッチメモリーを選択／保存する.....	12	故障かな？と思う前に.....	35
パッチメモリーをフットスイッチで切り替える ..	13	仕 様.....	37
2つ以上のエフェクトを使う	14	チューナータイプ.....	38
チューナーを使う.....	16		

用語について

パッチメモリー

エフェクトのON/OFFやパラメーターの設定値を記憶したものを“パッチメモリー”と呼びます。**MS-100BT** では、最大50個のパッチメモリーを保存できます。

エフェクトユニット

MS-100BT は、1～6個のエフェクトを同時に使用することができ、その数を自由に変更することができます。これらの単体エフェクトを“エフェクトユニット”と呼びます。

新しいエフェクトを追加可能な新世代のエフェクター

MS-100BTには、Bluetooth[®]ワイヤレステクノロジーが搭載されており、新しいエフェクトをワイヤレスで本体へ追加することができます。追加の仕方は、**MS-100BT**をBluetooth経由でiOS機器に接続し、無償提供されている専用アプリケーション**StompShare**から、追加したいエフェクトを購入するだけです。

専用アプリケーションStompShare



StompShareには、伝説的な名機から、定番エフェクト、アンプモデルやZOOM独自の個性的なエフェクトなどが登録されています。それらを試聴／試奏した上で、お好みのエフェクトを手軽に購入することができます。今後も多彩なエフェクトが追加されていく予定です。**StompShare**は無料でApp Storeからダウンロードできます。

多彩なエフェクトタイプと自由な組み合わせ




歪み系から空間系の定番エフェクト、特殊効果、モジュレーション系はもちろん、世界中のライブステージやリハーサルスタジオで定評のあるアンプのモデリングまで、100タイプのエフェクトを搭載。それらを自由に組み合わせて同時に最大6つまで使用可能です。

安全上の注意

このオペレーションマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次の通りです。

	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

図記号の例

	「実行しなければならない(強制)内容」です。
	「してはいけない(禁止)内容」です。
 警告	

ACアダプターによる駆動

- ACアダプターは、必ずZOOM AD-16を使用する。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外では使用しない。

乾電池による駆動

- 市販の1.5V単三乾電池(アルカリ電池または、ニッケル水素蓄電池)×2を使用する。
- 使用するときは、必ず電池カバーを閉める。

改造について

- ケースの開封や改造を加えない。

 注意

製品の取り扱いについて

- 落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えない。
- 異物や液体を入れないように注意する。

使用環境について

- 温度が極端に高いところや低いところでは使わない。
- 暖房機やコンロなど熱源の近くでは使わない。
- 温度が極端に高いところや水滴のかかるところでは使わない。
- 振動の多いところでは使わない。
- 砂やほこりの多いところでは使わない。

ACアダプターの取り扱いについて

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

乾電池の取り扱いについて

- 電池の+、-極を正しく装着する。
- 指定の電池を使う。
新しい電池と古い電池、銘柄や種類の違う電池を同時に使用しない。
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り外す。
液漏れが発生したときは、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取る。

接続ケーブルと入出力端子について

- ケーブルを接続するときは、各機器の電源スイッチを必ずOFFにしてから接続する。

音量について

- 大音量で長時間使用しない。

使用上の注意**お手入れについて**

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが残らない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにACアダプターを抜いて電源を切り、他の接続ケーブル類もはずしてください。「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまで連絡してください。

著作権について

"Made for iPod," "Made for iPhone," and "Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.

iPad, iPhone, iPod, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

BluetoothとBluetoothロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、株式会社ズームはライセンスに基づいて使用しています。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。
*文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

認定機器について

■無線の許可認定について

本製品は、電波法および電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けた無線設備を搭載しています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、下記の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・本製品を分解/改造すること

■無線に関する注意事項


本製品の使用周波数帯域は2.4GHz帯です。この周波数帯域(2.4GHz帯)は、電子レンジなど産業・科学・医療機器の他にもさまざまな機器が使っていることがあります。

電波干渉を防止するために、以下の事項に注意して使用してください。

1. 本製品を使い始める前に、お近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. その他、本製品の無線に関して不明な点やお困りのことが生じた場合は、弊社まで連絡してください。

2.4 FH 1



2.4: 2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
FH: FH-SS変調方式(周波数ホッピング方式)を表します。
1: 想定される干渉距離が10m以内であることを表します。
: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

本製品には、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。
無線設備名:001NYCA1293



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

DC9V ACアダプター端子

電源にコンセントを使用する場合、専用アダプター (AD-16) で接続します。(→P8)

出力端子

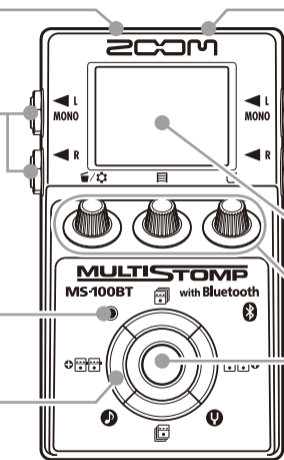
アンプや他のエフェクターに接続します。
モノラルの場合は、MONOに接続します。

ON/OFF インジケーター

ディスプレイに表示されているエフェクトがONのときに点灯、OFFのときに消灯します。(→P10)

カーソルキー

(→P7)

**Bluetooth**

iOS機器に接続し、新しいエフェクトを追加できます。(→P20)
また、ファームウェアバージョンアップデートを行います。(→P25)

入力端子

ギターを接続します。
モノラルの場合は、MONOに接続します。

ディスプレイ

現在選択されているエフェクトや各種画面を表示します。(→P9)

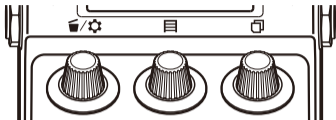
パラメーターノブ

(→P7)

フットスイッチ

ディスプレイに表示されているエフェクトのON/OFFを切り替えます。(→P10)
長押し(1秒間)で、チューナーまたはタップテンポに切り替わります。(→P16、18)

■ パラメーターノブ



(左から)

パラメーターノブ1 [🗑️/⚙️]

左右に回してパラメーターを調節します。

押すと[MENU]が表示され、エフェクトユニットの削除や並び替え、各種設定ができます。(→P14, 21)

また、ファームウェアバージョンを確認することができます。(→P25)

パラメーターノブ2 [📄]

左右に回してパラメーターを調節します。

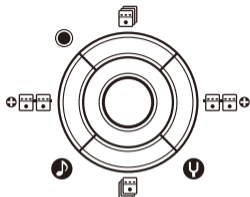
押すと[MEMORY]が表示され、パッチメモリーの選択や保存、フットスイッチによるパッチメモリーの切り替えができます。(→P12, 13)

パラメーターノブ3 [📄]

左右に回してパラメーターを調節します。

押すと、パラメーターのページを変更できます。(→P11)

■ カーソルキー



カーソルキー (上、下) [📄 / 📄]

エフェクトタイプを変更します。

長押し(1秒間)でエフェクトの分類を選択することができます。(→P10)

カーソルキー (左、右) [🎵 / 🎵]

ディスプレイに表示されているエフェクトから左右のエフェクトへ移動します。

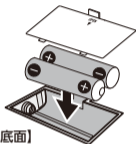
長押し(1秒間)で、ディスプレイに表示されているエフェクトの左または右隣に、新しいエフェクトを追加します。(→P14)

1 電源を入れるには

1. アンプの音量を最小にする。
2. 次のように電源を入れる。

<電池を使用する場合>

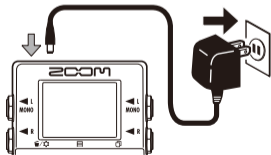
底面のフタを開けて、電池ボックスに電池を入れる。



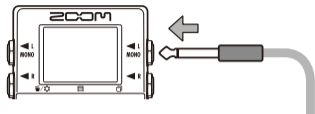
【本体底面】

<ACアダプターを使用する場合>

専用アダプター (AD-16) を接続する。



3. 入力端子にケーブルを接続する。



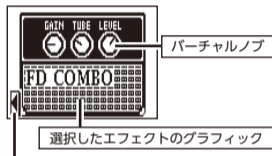
HINT

- 電源が電池のときは、入力端子(Lのみ)にケーブルを接続するとONになります。

4. アンプと接続し、アンプの電源を入れて、音量を上げる。

2 ディスプレイ情報

■ ホーム画面:現在のエフェクトを表示

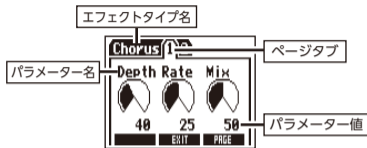


この先にエフェクトがあることを示す

HINT

- パーチャルノブは現在のパラメーター値を表示します。

■ エディット画面:編集中のパラメーターを表示

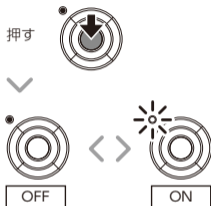


HINT

- 編集可能なパラメーターが4つ以上ある場合、ページタブが複数表示されます。

ホーム画面が表示されていることを確認する。

1 エフェクトのONとOFFを切り替えるには



NOTE

- ON/OFFインジケータが点灯している場合、ディスプレイに表示されているエフェクトがONになります。
- ON/OFFインジケータが消灯している場合、ディスプレイに表示されているエフェクトがOFFになります。

2 エフェクトタイプを選択するには

いずれかを押す



HINT

- 長押しすると、エフェクトの分類を選択することができます。「エフェクトを追加するには」の手順2を参照してください。(→P14)

3 パラメーターを調節するには



4 ページを変更するには

押す



次のページが開く



エフェクトの処理量制限について


MS-100BT は6つのエフェクトを自由に組み合わせることができますが、大きな処理量が必要とするエフェクトタイプ（アンプモデルなど）を組み合わせると、処理の限界を超えることがあります。その場合、“DSP Full!”と表示され、エフェクトがバイパス状態になります。いずれかのエフェクトタイプを変えるか“THRU”を選択することにより、この状態を回避できます。



NOTE

- 各エフェクトはON/OFFに関係なく同じ処理量が必要とします。

HINT

-  を1秒間長押しすることで、エフェクト処理を行わない“THRU”にジャンプすることができます。

ホーム画面が表示されていることを確認する。

1 パッチメモリーを選択するには

MS-100BT は、工場出荷時にはオートセーブ機能が有効になっているため、パラメーター調節後、設定が自動的に保存されます。

1. [MEMORY]を表示する。



2. パッチメモリーを選択する。

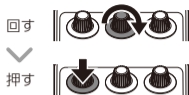


2 名前をつけて保存するには

1. [MEMORY]を表示する。

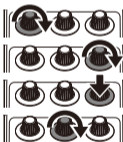


2. 名前をつけて保存するパッチメモリーを選択する。



3. 名前を変更し、保存先を選択する。

- ・ カーソル移動: 回す
- ・ 文字の変更: 回す
- ・ 文字/記号の種類の変更: 押す
- ・ 保存先の変更: 回す



4. 保存を実行する。



ホーム画面が表示されていることを確認する。

1 パッチメモリーを切り替える順番を登録／削除するには

1. [MEMORY]を表示する。




2. フットスイッチに登録／削除するパッチメモリーを選択する。



3. 登録／削除する。



HINT

-  を長押しすることで、すべての登録を削除することができます。

2 パッチメモリーを登録した順にフットスイッチで切り替えるには

1. [MEMORY]を表示する。



2. パッチメモリーを切り替える。



HINT

- 右のような場合、フットスイッチを踏むたびに、アルファベットの順に
[04:Flanger]
[01:160Comp]
[02:RackCmp]
[04:Flanger]
[01:160Comp] ...
のように切り替わります。



パッチメモリーをフットスイッチで切り替える

ホーム画面が表示されていることを確認する。

1 エフェクトを追加するには

1. [ADD EFFECT UNIT]を表示する。

1秒間

いずれかを長押し



2. エフェクトの分類を選択する。

いずれかを押す



押す



HINT

- [EXIT]を選択すると、エフェクトを追加せずにホーム画面に戻ります。

2 追加したエフェクトを削除するには

1. [MENU]を表示する。

押す

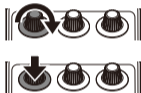


2. [DELETE EFFECT UNIT]を選択する。

回す



押す

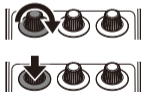


3. [YES]を選択する。

回す



押す



3 エフェクトの表示をスクロールするには

複数のエフェクトを追加しているときにスクロールしてエフェクトの表示を切り替えます。

いずれかを
押す



右から数えて何番目の
エフェクトかを示す



この先にあるエフェクトの数を示す

4 エフェクトの並び順を変更するには

1. [MENU]を表示する。

押す

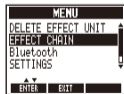


2. [EFFECT CHAIN]を選択する。

回す



押す



3. 移動するエフェクトを選択し、持ち上げる。

回す



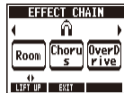
(選択する)

▽

押す



(持ち上げる)



HINT

- OFFのエフェクトはグレイアウト表示されます。

4. 移動先を選択し、降ろす。

回す



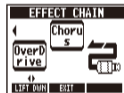
(選択する)

▽

押す



(降ろす)

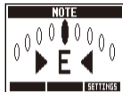


5. 終了する。

押す



1 チューナーを有効にするには

1秒間
長押し

NOTE

- フットスイッチを長押ししたときの機能をタップテンポにするには、設定を変更する必要があります。(→P21)

2 チューナーを終了するには

押す



3 チューナーの基準ピッチを変更するには

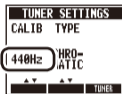
チューナー画面が表示されていることを確認する。

押す



✓

回す



4 チューナータイプを変更するには

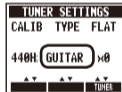
チューナー画面が表示されていることを確認する。

押す



✓

回す



CHROMATIC

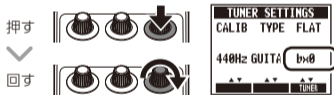
最寄りの音名(半音単位)と、その音名からどの程度ずれているかを表示します。

その他のチューナータイプ

選択したタイプに応じて最寄りの弦番号を表示し、本来合わせるべきピッチからどの程度ずれているかを表示します。選択できる種類は巻末の表を参照してください。(→P38)

5 フラットチューニングを使用するには

チューナー画面が表示されていることを確認する。



NOTE

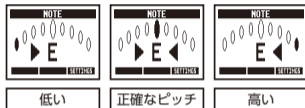
- チューナータイプが“CHROMATIC”のときは、フラットチューニングはできません。

6 チューニングするには

チューニングしたい弦を開放で弾き、ピッチを調節する。

■ CHROMATICチューナー

最寄りの音名とピッチのずれが表示されます。



■ その他のチューナー

最寄りの弦番号とピッチのずれが表示されます。



ディレイや一部のモジュレーション/フィルターエフェクトでは、テンポの同期が可能です。同期させるには、あらかじめ同期が可能なエフェクトを選択し、“TIME”や“RATE”など、同期に対応したパラメーターを“♪”や“♪”の音符マークに設定しておきます。(→P10、26)

テンポは、フットスイッチまたは手動でタップして設定します。

1 フットスイッチでタップテンポを設定するには

NOTE

- 工場出荷時の設定では、フットスイッチを長押しするとチューナーが起動します。フットスイッチでタップテンポを設定するには、フットスイッチを長押ししたときの機能をタップテンポに変更する必要があります。(→P21)

1. タップテンポの設定画面を表示する。

1秒間
長押し



2. 目的のテンポでフットスイッチを2回以上踏む。



ON/OFFインジケーターがテンポに合わせて点滅する。

3. 設定を終了する。

1秒間
長押し



NOTE

- エフェクトがONの状態でもフットスイッチを踏むと、ON/OFFインジケーターが消灯し、エフェクトは1秒間OFFの状態になります。

2 手でタップテンポを設定するには

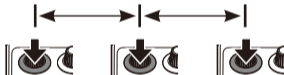
1. ホーム画面で、テンポ同期対応のエフェクトを選択する。(→P10、26)
2. パラメーターのエディット画面を表示する。

押す



3. 目的のテンポで2回以上押す。

押す



ON/OFFインジケータが
テンポに合わせて点滅する。



NOTE

- テンポは、パッチメモリーごとに保存されます。

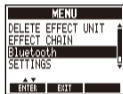
1 iOS機器と接続するには

iOS機器と接続するには、**MS-100BT**とiOS機器のペアリング(登録)が必要です。

1. [MENU]を表示する。



2. [Bluetooth]を選択する。



3. [PAIRING]を選択する。



この番号は、Bluetooth対応デバイスを識別するために使われるアドレスで、機器ごとに設定された番号です。




4. iOS機器から[ZOOM MS-100BT]を選択する。

- ・ペアリング、接続についての詳しい方法は専用アプリケーション**StompShare**のHelpを参照してください。
- ・ペアリングが成功し、iOS機器と接続されると自動的にONが選択されます。

5. [EXIT]を選択する。



HINT

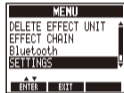
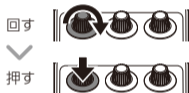
- ・ON:Bluetooth機能を有効にします。
- ・OFF:Bluetooth機能を無効にします。
- ・PAIRING:iOS機器とペアリングするときに選択します。
- ・一度ペアリングすると、**MS-100BT**の電源投入時に自動的に接続されます。(Bluetooth機能有効時)
- ・iOS機器と接続されると、ホーム画面にが表示されます。
- ・ONとOFFを選んだ場合は、[EXIT]を押して、画面を抜けることで設定が有効になります。

1 各種設定を変更するには

1. [MENU]を表示する。



2. [SETTINGS]を選択する。



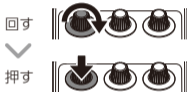
NOTE

- ここで行う設定は、すべてのパッチメモリーで共有されます。

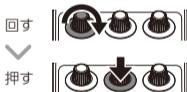
2 フットスイッチを長押ししたときの機能を設定するには

フットスイッチを1秒間踏み続けたときの機能(チューナーまたはタップテンポ)を選択します。

1. [SETTINGS]で[HOLD FOR TUNER/TAP]を選択する。



2. フットスイッチを長押ししたときの機能を設定する。

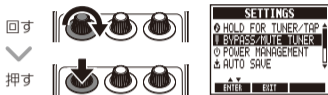


HINT

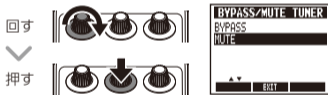
- TUNER:チューナーを起動します。(工場出荷時)
- TAP TEMPO:タップテンポを起動します。

3 チューナーモードを設定するには

1. [SETTINGS]で[BYPASS/MUTE TUNER]を選択する。



2. チューナーモードを設定する。

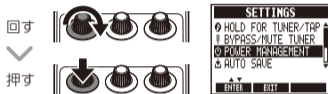


HINT

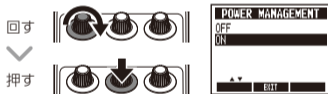
- BYPASS:チューナー使用時にバイパス状態になります。
- MUTE:チューナー使用時に出力をミュートします。

4 パーマネージメント機能を設定するには

1. [SETTINGS]で[POWER MANAGEMENT]を選択する。



2. パーマネージメント機能を設定する。

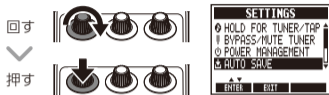


HINT

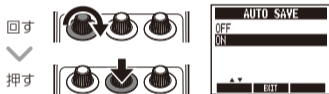
- ON:パーマネージメント機能が有効です。操作をやめてから10時間経過すると自動的に電源が切れます。
- OFF:パーマネージメント機能を無効にします。

5 オートセーブ機能を設定するには

1. [SETTINGS]で[AUTO SAVE]を選択する。



2. オートセーブ機能を設定する。

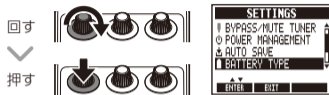


HINT

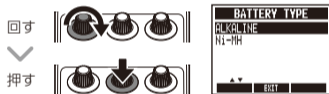
- ON:パッチメモリーの変更は自動的に保存されます。
- OFF:保存操作を行うまで、パッチメモリーの変更は保存されません。(→P12)

6 電池の種類を選択するには

1. [SETTINGS]で[BATTERY TYPE]を選択する。



2. 電池の種類を選択する。



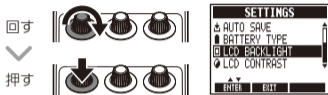
HINT

- 電池残量は[MENU]で確認できます。
- 電池交換時期は、"Low Battery!"と表示されたときです。

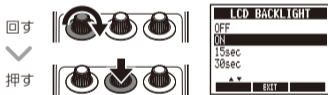


7 バックライトが暗くなるまでの時間を設定するには

1. [SETTINGS]で[LCD BACKLIGHT]を選択する。

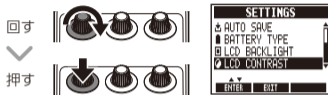


2. バックライトが暗くなるまでの時間を選択する。

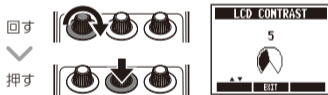


8 ディスプレイのコントラストを調節するには

1. [SETTINGS]で[LCD CONTRAST]を選択する。



2. ディスプレイのコントラストを調節する。



9 ファームウェアバージョンを表示するには

1. [MENU]を表示する。



2. [VERSION]を選択する。



ファームウェアバージョン
が表示される。



HINT

- 専用アプリケーション**StompShare**で最新のファームウェアを確認してください。ファームウェアアップデートは**StompShare**から行います。

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
DYN/ FLTR	Comp	MXR Dynacomp風のコンプレッサーです。	
	RackComp	Compよりも細かい調節の可能なコンプレッサーです。	
	M Comp	自然なかかり具合のコンプレッサーです。	
	OptComp	APHEX Punch FACTORY風のコンプレッサーです。	
	SlowATTCK	いわゆるバイオリン奏法のように、1音1音の立ち上がりをゆるやかにするエフェクトです。	
	ZNR	音色を損なわずに無演奏時のノイズを抑えるノイズリダクションです。	
	NoiseGate	無演奏時に信号をカットするノイズゲートです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
DYN/ FLTR	LineSel	LineSelに入ってくる音を、OUTPUTに直接送る経路(OFF時)と、次につながるエフェクターの経路(ON時)を切り替えます。	
	GraphicEQ	6バンドのイコライザーです。	
	ParaEQ	2バンドのパラメトリックイコライザーです。	
	Exciter	BBEソニックマキシマイザー風のエキサイターです。	
	CombFLTR	フランジャーの変調を固定することで生じるクシ型フィルターをイコライザー的に利用するエフェクトです。	
	AutoWah	ピッキングの強弱に応じてワウ効果がかかるエフェクトです。	
	Resonance	ピッキングの強弱に応じてレゾナンスフィルターの周波数が動くエフェクトです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
DYN/ FLTR	Cry	音色がトーキングモジュレーター風に変化するエフェクトです。	
	M-Filter	幅広いセッティングが可能なMoog MF-101 Low Pass Filter風のエンベロープフィルターです。	
	Step	音色が階段状に変化するエフェクトです。	♪
	SeqFLTR	Z.Vex Seek Wah風のシーケンスフィルターです。	♪
	RndmFLTR	ランダムに特性が変化するフィルターエフェクトです。	♪
	fCycle	周期的に特性が変化するフィルターエフェクトです。	♪
OD/ DIST	Booster	信号のゲインを上げて迫力あるサウンドを作るブースターです。	
	OverDrive	世界ではじめて“オーバードライブ”の名を冠したコンパクトエフェクター BOSS OD-1のモデリングです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
OD/ DIST	T Scream	多くのギタリストがブースターとして愛用し、さまざまなクローンモデルを生んだIbanez TS808のモデリングです。	
	Governor	Marshallの歪み系エフェクターGuv'norのモデリングです。	
	Dist+	世界にディストーションの名を広めたエフェクターMXR distortion+のモデリングです。	
	Dist 1	超ロングセラーとなったBOSSのディストーションDS-1のモデリングです。	
	Squeak	エッジの効いたディストーションサウンドで人気があるProCo RATのモデリングです。	
	FuzzSmile	ユーモラスなパネルデザインと破壊的なサウンドでロックの歴史に名を刻んだFUZZ FACEのモデリングです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
OD/ DIST	GreatMuff	太くて甘いファズサウンドが世界中の有名アーティストから愛された、ELECTRO HARMONIX BigMuffのモデリングです。	
	MetalWRLD	ロングサスティンと迫力ある中低音が特徴の BOSS METAL ZONEのモデリングです。	
	HotBox	真空管を内蔵したコンパクトプリアンプMATCHLESS HOT BOXのモデリングです。	
	Z Clean	ズームオリジナルのクセのないクリーンサウンドです。	
	Z MP1	ADA MP1とMarshall JCM800の組み合わせを元に作成したオリジナルサウンドです。	
	Z Bottom	低域と中域を強調したハイゲインサウンドです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
OD/ DIST	Z Dream	Mesa Boogie Road King Series IIのLeadチャンネルを元に仕上げたリード向けハイゲインサウンドです。	
	Z Scream	低域から高域までバランスのとれたオリジナルハイゲインサウンドです。	
	Z Neos	モディファイされたクラスAブリティッシュ・コンポアンプの音をモデリングしたクランチサウンドです。	
	Z Wild	オーバードライブをさらにブーストしたハイゲインサウンドです。	
	Lead	明るい音色で滑らかな歪みが特徴のディストーションサウンドです。	
	ExtremeDS	歪みエフェクトとして世界最強のゲインを誇るハイゲインサウンドです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
OD/ DIST	Aco.Sim	エレクトリックギターの音色をアコースティックギター風に変えるエフェクトです。	
AMP	FD COMBO	さまざまなジャンルのギタリストに愛されるFender Twin Reverb ('65)のモデリングサウンドです。	
	DELUXE-R	65年製 Fender Deluxe Reverbのモデリングサウンドです。	
	US BLUES	Fender Tweed Bassmanのクランチサウンドです。	
	VX JMI	クラスAプリティッシュ・コンポアンプ初期モデルのモデリングサウンドです。	
	TW ROCK	アメリカのブティックアンプ Two Rock Emerald 50のドライブチャンネルを使ったクランチサウンドです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
AMP	MS 1959	69年製 Marshall 1959 Plexiのモデリングサウンドです。	
	DZ DRIVE	独立3チャンネルのコントロールが可能な、ドイツのハンドメイドギターアンプDiezel Herbertのチャンネル3を使ったハイゲインサウンドです。	
	ALIEN	パワフルな低域が特徴のEngl Invaderのハイゲインサウンドです。	
MOD/ SFX	Tremolo	音量を周期的に上下させるエフェクトです。	♪
	Slicer	音を連続的に刻んでリズムカルなサウンドを作り出すエフェクトです。	♪
	Phaser	音にシュワシュワした揺らぎを加えるエフェクトです。	♪
	DuoPhase	2つのフェイザーを組み合わせたエフェクトです。	♪

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
MOD/ SFX	WarpPhase	一方向に効果がかかるフェイザーです。	♪
	TheVibe	独特のうねりが特徴的なヴァイブサウンドです。	
	Chorus	原音にピッチを揺らしたエフェクト音をミックスし、揺れや厚みを加えるエフェクトです。	
	Detune	わずかにピッチシフトさせたエフェクト音と原音をミックスさせることで、変調感の少ないコーラス効果が得られるエフェクトです。	
	VintageCE	BOSS CE-1風のヴィンテージコーラスです。	
	StereoCho	クリアな音質のステレオコーラスです。	
	Ensemble	立体的な動きが特徴のコーラスアンサンブルです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
MOD/ SFX	SuperCho	BOSS SUPER CHORUS CH-1のモデリングです。	
	VinFLNGR	MXR M-117Rのようなアナログフランジャーのサウンドです。	♪
	Flanger	ADA Flangerのようなジェットサウンドです。	♪
	DynaFLNGR	入力信号のレベルに応じてエフェクト音の音量が変化するダイナミックフランジャーです。	♪
	Vibrato	自動的にピブラートのかかるエフェクトです。	♪
	Octave	原音に1オクターブ下と2オクターブ下の音を加えるエフェクトです。	
	PitchSHFT	ピッチを上下にシフトさせるエフェクトです。	
	MonoPitch	モノフォニック(単音弾き)専用の音揺れの少ないピッチシフターです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
MOD/ SFX	HPS	設定されたキーやスケールに応じてピッチをシフトしたエフェクト音を出力する、インテリジェントなピッチシフターです。	
	BendCho	1音1音のピッキングに追従して、ピッチのベンディングを行うエフェクトです。	
	MojoRolle	ピッキング後に音程を揺らすエフェクトです。	♪
	RingMod	金属的なサウンドを作り出すエフェクトです。Freq/パラメーターの設定で音色がガラリと変わります。	
	BitCrush	ローファイな音を作り出すエフェクトです。	
	Bomber	ピッキングすると爆発音が出るエフェクトです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
MOD/ SFX	MonoSynth	入力信号のピッチを検出して発音するモノフォニック(単音弾き)ギターシンセサイザーです。	
	Z-Organ	オルガンのサウンドをシミュレートしたエフェクトです。	
	AutoPan	音像が周期的に移動するエフェクトです。	♪
	Rt Closet	ロータリースピーカーをシミュレートしたエフェクトです。	
DLY/REV	Delay	最長4000msのロングディレイに対応したディレイです。	♪
	TapeEcho	テープエコーの効果をシミュレートしたエフェクトです。"Time"パラメーターを変化させると、エコー音のピッチが変化します。	♪
	ModDelay	ディレイ音にモジュレーションの効果がかかるエフェクトです。	♪

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
DLY/REV	AnalogDly	最長4000msのロングディレイに対応した、暖かみのあるアナログディレイのシミュレーションです。	♪
	ReverseDL	最長2000msのロングディレイに対応した、リバースディレイです。	♪
	MultiTapD	ディレイタイムの異なる複数系統のディレイ音を得られるエフェクトです。	♪
	DynaDelay	入力信号のレベルに応じてエフェクト音の音量が変化するダイナミックディレイです。	♪
	FilterDly	ディレイ音にフィルターの効果がかかるエフェクトです。	♪
	PitchDly	ディレイ音にピッチシフターの効果がかかるエフェクトです。	
	StereoDly	左右のディレイタイムを個別に設定できるステレオディレイです。	♪

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
DLY/REV	PhaseDly	ディレイ音にフェイザーの効果がかかるエフェクトです。	♪
	TrgHldDly	ピッキングをトリガーにサンプルホールドするディレイです。	
	StompDly	ストップ型ディレイのようにフィードバックをあげたとき発振させることができるディレイです。	♪
	HD Hall	密度の高いホール・リバーブです。	
	HD Reverb	密度の高いリバーブです。	
	Hall	コンサートホールの残響をシミュレートしたリバーブです。	
	Room	部屋の残響をシミュレートしたリバーブです。	
	TiledRoom	タイル貼りの部屋の残響です。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
DLY/REV	Spring	スプリングリバーブのシミュレーションです。	
	Arena	アリーナ級の大会場の残響です。	
	EarlyRef	リバーブに含まれる初期反射音のみを取り出したエフェクトです。	
	Air	部屋鳴りの空気感を再現し、空間的な奥行きを与えます。	

1 オールイニシャライズ機能を実行するには

オールイニシャライズ機能を使うと、工場出荷時の状態に戻ります。

NOTE

- オールイニシャライズを実行すると、パッチメモリーを含むすべての設定が工場出荷時の設定に置き換えられます。
この操作は慎重に行ってください。
- この操作によって、追加したエフェクトは、削除されません。

1. 押しながら、電源を入れる。



オールイニシャライズ画面が表示される。



2. 実行する場合はフットスイッチを押す。

押す



電源が入らない

- ・ 電池駆動時は、入力端子にケーブルを接続する。

音が出ない、非常に小さい

- ・ 接続を確認する。(→P8)
- ・ 各エフェクトのレベルを調節する。(→P10)
- ・ 本機がミュート状態になっていないことを確認する。(→P22)

ノイズが多い

- ・ シールドケーブルが正常であることを確認する。
- ・ ZOOM純正のACアダプターを使用する。(→P8)

エフェクトがかからない

- ・ エフェクトの処理量が制限を超えている場合、エフェクトグラフィックの上に“DSP Full!”と表示される。“DSP Full!”と表示されたエフェクトはバイパス状態になる。(→P11)

電池の消耗が早い

- ・ マンガン電池を使用していないか確認する。連続使用可能時間は、モノラル入力時:アルカリ電池で約7時間、ステレオ入力時:アルカリ電池で約5時間。
- ・ 電池の設定を確認する。(→P8) 電池の残量表示をより正確に行うには、使用している電池に設定を合わせる必要がある。(→P23)
- ・ 電池の特性上、気温が低い場所で使用すると消耗が早くなる。

iOS機器とペアリング、接続ができない

- ・ ペアリングするときは、**MS-100BT**のBluetooth機能がPAIRINGになっていることを確認する。(→P20)
- ・ iOS機器と接続するときは、**MS-100BT**のBluetooth機能がONになっていることを確認する。(→P20)
- ・ iOS機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認する。
- ・ iOS機器と**MS-100BT**の間に障害物がないことを確認する。
- ・ iOS機器との通信距離をできるだけ近づける。
- ・ iOS機器のBluetooth設定画面から[ZOOM MS-100BT]を削除し、再接続する。
- ・ iOS機器と**MS-100BT**の両方の電源を切り、再接続する。

iOS機器と通信できない

- ・ iOS機器と**MS-100BT**の間に障害物がないことを確認する。
- ・ iOS機器との通信距離を確認する。**MS-100BT**とiOS機器をできるだけ近づけ、通信を安定させる。
- ・ 電池残量を確認する。電池残量が少ないときは、iOS機器との通信はできない。

エフェクトタイプ	100タイプ
最大同時使用エフェクト	6
パッチメモリーエリア	50
サンプリング周波数	44.1kHz
A/D変換	24ビット128倍オーバーサンプリング
D/A変換	24ビット128倍オーバーサンプリング
信号処理	32ビット浮動小数+32ビット固定小数
周波数特性	20Hz ~ 20kHz (+1dB/-3dB) (10kΩ負荷時)
ディスプレイ	LCD
入力	標準モノラルフォーンジャック 定格入力レベル: -20dBm、入力インピーダンス: 1MΩ
出力	標準モノラルフォーンジャック 最大出力レベル: ライン +5dBm (出力負荷インピーダンス10kΩ以上時)
電源	ACアダプター DC9V センターマイナス、500mA (ZOOM AD-16) 電池 単三乾電池 2本 連続駆動時間 約7時間(モノラル入力、アルカリ電池使用時) 約5時間(ステレオ入力、アルカリ電池使用時)
外形寸法	130.3mm(D) x 77.5mm(W) x 58.5mm(H)
Bluetooth	ファームウェアアップデート
重量	360g

・ 0dBm=0.775Vrms

* 動作確認済みの機種、OSに関する最新情報は、ZOOMのWEBサイト(<http://www.zoom.co.jp/>)で確認してください。

■ チューナータイプ

表示	解説	弦番号／音名						
		7	6	5	4	3	2	1
GUITAR	7弦ギターにも対応するギターの標準チューニング	B	E	A	D	G	B	E
OPEN A	開放弦を鳴らすとAのコードになるオープンAチューニング	-	E	A	E	A	C#	E
OPEN D	開放弦を鳴らすとDのコードになるオープンDチューニング	-	D	A	D	F#	A	D
OPEN E	開放弦を鳴らすとEのコードになるオープンEチューニング	-	E	B	E	G#	B	E
OPEN G	開放弦を鳴らすとGのコードになるオープンGチューニング	-	D	G	D	G	B	D
DADGAD	タッピング奏法などでよく使われる変則チューニング	-	D	A	D	G	A	D
BASS	5弦ベースにも対応するベースの標準チューニング	-	-	B	E	A	D	G

zoom®

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

<http://www.zoom.co.jp>